

平成30年度

仁和会 事業計画

社会福祉法人 仁和会

## 社会福祉法人仁和会 基本理念

仁（思いやり）と和（助け合い）の精神で、障がいのある方々の地域での充実した暮らしを創造します。

（仁は「他人に対する親愛の情、優しさ、いたわりの心」、和は「争いなく協力し合うこと」）

### 基本方針

一． 利用者の方の人権を擁護し、その尊厳にふさわしい主体的な生活の実現を支えること目指します。

一． 仁和会に関わるすべての人々や地域の方々から共感と信頼を得られるサービス提供を目指します。

一． 障がいのある方々に、地域生活に必要な福祉サービスを総合的に提供できる支援・援助体制を目指します。

#### 1. 基本理念に基づく経営をめざして

平成25年9月19日当法人評議員会・理事会で制定された「基本理念」と「基本方針」を経営理念として、平成29年度の法人の事業を引き続いて推進します。

社会福祉法人「仁和会」が、府中市を中心とした近隣地域社会の中でこれまで果たしてきた役割を再確認し、地域のニーズに応える事業推進のため、有為な法人職員を旺盛な就労意欲を持った専門性の高い福祉従事者として、さらに法人の次代を担う職員として養成します。

近隣地域の方々を対象に法人事業への理解を深め、障害者福祉の充実に向けて協力していただけるように、利用者、家族そして職員の法人挙げて、地元町内会等のお力を借りして、施設開放事業「にんな祭」（9月8日土曜日）に取り組みます。

#### 2. 法人内各事業所の組織体制の充実

すべての職員が当法人の定款、職員就業規則等の諸規則を遵守し、事業所ごとの垣根を超え、法人内の事業所を横断的、効果的かつ有機的に機能する組織を構築していくことを本年度の重点課題といたします。また、引続き労働安全衛生法施行令に準じた、定期健康診断、ストレスチェックをはじめとする職員の心身の健康に組織的に対応してまいります。

### 3. 職員の資質向上のために

昨年度の常勤職員の入替に伴い、当法人の基本理念の共通理解や各種規則遵守について改めて基礎からの法人全体研修を下記のとおり実施いたします。

○法人の基本理念の再確認、共通理解のための研修。

○自閉症、行動障がいのある利用者に対する専門的支援が可能となるように、職員の支援技術の向上を図る専門研修。

○虐待防止委員会が企画実施を担当し、人権尊重をテーマの研修。

○産業医による職員の心身共の健康教育、指導研修。

また、必要と思われる外部研修への参加および職場内でのOJT研修等を積極的に推進いたします。

### 4. 府中はるみ福祉園の大規模修繕

昨年度より検討している大規模修繕については、地上3階建、防災拠点および強度行動障害対応等、現在想定できる利用者ニーズおよび地域ニーズを積極的に取込み、全面建て替え方法で行うこととし、本年度の国庫補助協議に乗せ、補助内示の決定する平成31年度に工事の着工および竣工を目指すこととします。なお、工事实施の際は、代替地での仮設建物での運営を行いながら、一時閉園をせず工事を実施することと考えています。

### 5. 府中さくらの杜の医療的ケアの受入れ体制の整備と受入れ

府中さくらの杜の役割としての医療的ケアの必要な利用者の受入れについては、昨年度具体的職員研修、実習を行うとともに、すべての利用者がより利用しやすい空間とすべくフロアの変更等を行ないました。本年度は、医療的ケアの方の利用受け入れを積極的に進めるとともに、引続き職員の外部研修、実習を計画的に実施すること等により、受入れ体制の整備、充実を引き続き重点課題として推進してまいります。

### 6. 新規法定サービスの導入の検討

平成30年度障害福祉サービス報酬改定で新規サービスとして示された「実質的に一人暮らしで、月2回以上の訪問により生活が継続できるように援助する」ことを目的とした「自立生活援助サービス」について、現在実施しているグループホーム事業（せんげん）および相談支援事業（サポートにん）を中心とした地域生活サポートセンター等の構築について研究、検討を具体的に行っていくこととします。

### 7. その他

- ・業務執行理事およびコンプライアンス担当理事を中心に、法人の適正運営に取り組んでまいります。
- ・職場におけるハラスメントを発生させないことはもちろん、心身ともに健全な職場環境の醸成に取り組んでまいります。
- ・4部門がそれぞれに健全な経営をはかれるように、収入を左右する利用者の安定的確保をめざします。
- ・法人に働く職員たちが、自信を持ってその高い専門性を発揮して、将来に希望を託して仕事が続けられる職場づくりをめざします。